

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム星岡

(ユニット名)

花組

記入者(管理者)

氏名

藤本 弘子

評価完了日

平成 19 年 3 月 10 日

ホップ 職員みんなで自己評価! ステップ 外部評価でブラッシュアップ!! ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!  
 - サービス向上への3ステップ - “愛媛県地域密着型サービス評価”

[ 認知症対応型共同生活介護用 ]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年5月28日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3870104969		
法人名	医療法人 順風会		
事業所名	グループホーム 星岡		
所在地	松山市星岡二丁目8番24号 (電話) 089-914-8778		
管理者	藤本 弘子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年4月18日	評価確定日	平成19年5月28日

【情報提供票より】 (平成19年3月30日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年5月25日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	13人 非常勤 2人 常勤換算 13.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成19年3月30日現在)			
利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名
要介護3	10 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 65 歳	最高 98 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護	
加算	(あり)・なし	医療連携体制加算	

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ショートステイやデイサービスを併設する複合施設の中にあるグループホームで、母体施設が行うヘルパー実習生の受け入れや習字等のボランティア、地域の方やご家族が参加される移動喫茶の開催、また、施設の会場で行なわれる毎月のイベント等、いろいろな方と交流する機会が設けられている。  
 事業所では、「残存機能を活かして支援する」ことを理念の一つに挙げ、廊下での歩行練習を行ったり、口腔体操等も行なわれている。  
 苑長(管理者)は、職員の悩みをさりげなく聴き取り、職員から出されるアイデアや工夫などを日常生活支援の中で十分に活かせるよう取り組まれており、共用空間内の装飾等にもさらなる工夫がうかがえた。

### 【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、年間を通して改善に取り組みました。利用者が事業所でどのように暮らせるのかがよく分かる文書「星岡での生活」を作成され、入居案内時に具体的に説明をされている。</li> </ul>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングを数回開催して全職員で評価項目1項目ずつ検討をされた。</li> <li>・自己評価実施後、職員は新たな気付き等もあり、ケアについてのさらなる取り組みを検討されていた。</li> </ul>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の回数を重ね、地域との関係性も深まっている。地域の行事やふれあいサロンへのお誘い、地域情報の提供などがなされている。</li> <li>・利用者が行方不明になった時等、緊急時に町内放送をお願いできるようになった。</li> </ul>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嗜好調査票等でご家族の希望を聞いたり、玄関には意見箱も設置されているが、現在は、ご家族は口頭で意見を出されることが多い。</li> <li>・今後、事業所では家族会の開催も検討されており、ご家族からさらに意見が出やすくなるよう仕組み作りを考えておられた。</li> </ul>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会長や民生委員の方の協力を得て地域との交流を深めておられる。また、複合施設の建物にある会場を地域に提供し、必要時には職員が協力もされている。</li> </ul>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) これまでの理念を見直し、事業所と地域の関係性の強化を加えた理念を掲げている。		
			(外部評価) 自己評価作成後にミーティングを開き、職員で意見を出し合い、さらに地域と交流していくことを目指すための理念を作っておられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は事務所、居間、玄関に掲示し、月例のメイト会の初めに全員で唱和し、具体的なケアについても話し合い、意見の統一を図っている。		
			(外部評価) 管理者は、日頃のケアの中で理念に基づき話をされている。職員は、特に利用者の残存機能を活かす支援に力を入れておられた。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族や地域の方々が来られたらすぐに目につく玄関口に理念を掲示している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) アイリバーサポート(川掃除)に職員が交替で参加し、時には利用者も危なくない程度に参加してもらっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の盆踊り等には積極的に参加している。近隣の幼・保育園児が遊びにきたり、中高生ボランティアが来てくれる。地域の敬老会には会場を提供し、対象者は参加している。  (外部評価) 町内会長や民生委員の方の協力を得て地域との交流を深めておられる。また、複合施設の建物内にある会場を地域に提供し、必要時には職員が協力している。		町内のサロンへの参加も考え、申し出ている。  さらに今後、町内のサロンへの参加など利用者もともに交流できるような取り組みをすすめておられる。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成の貢献として実習生の受け入れを積極的に行っている。また地域の方からの認知症の相談や介護サービスの利用等の相談を随時受けている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) サービス評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果は、改善に向けての検討や実践につなげる為の努力をしている。  (外部評価) ミーティングを数回開催して、自己評価を職員全員で取り組まれた。昨年度の評価結果についての改善計画を作成し、年間を通して改善に取り組まれていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議の席で町内会長、民生委員の方の協力を頂きながら、地域の人たちと交流できる行事を計画し、実行に移し報告し、サービス向上につなげている。		
			(外部評価) 運営推進会議の回数を重ね、地域との関係性も深まっている。地域の行事やふれあいサロンへのお誘い、地域の情報の提供がなされている。利用者が行方不明になった時等、緊急時に町内放送をお願いできるようになった。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 今のところ、現場の実情を市町村に伝える機会は運営推進会議の時のみである。		今後、事業を行っていく上で生じる運営やサービスの課題は事業所だけで抱え込まず、市町村担当者と共に解決を図っていけるよう関係づくりをしたい。
			(外部評価) 運営推進会議時には、市の担当者よりグループホームで 気を付ける点等をお話いただいている。		今後は、市町村に連携できるような方策についてお聞きしたり、働きかけてみることを検討されている。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) グループ内に専門家を置き、必要な人にはそれらを活用できる窓口が設置されている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待の原因となる、職員のストレスを溜めない配慮として休憩室の確保と休憩時間の確保には気を配っている。虐待はあり得ないことと思ひ、勉強会は行っていない。		今後、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を考えていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際に説明し、その後法改正による利用料改正、医療連携体制の実際については詳しく説明し同意を得ている。利用者の状態変化により契約解除に至る場合はご家族と対応方針を相談している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の要望、意見は管理者が聞き取り、出来る限り実現できるよう心がけている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 利用者の暮らしぶりを個人写真入りの手紙やグループホーム新聞にて月1回の請求書郵送時に同封し報告している。		
			(外部評価) ホーム新聞、行事の写真などで利用者の表情をお伝えしている。		今後、職員の紹介や日常の様子なども伝えていくような新聞作りを計画されていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を作成し、自由に意見を出して頂けるよう設置している。またご家族来所時等に何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。		
			(外部評価) 嗜好調査票等でご家族の希望を聞いたり、玄関には意見箱も設置されている。現在、ご家族は口頭で意見を出されることが多い。		今後、事業所では家族会の開催も検討されており、ご家族から意見が出やすくなるような仕組み作りを考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回メイト会を行い、意見を聞くようにしている。また日頃からコミュニケーションを図るよう心がけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者が病院から退院された場合等、状況に応じて勤務時間等、臨機応変に対応している。また計画作成担当者は通常のシフトに入っていない為、柔軟な体制が取れる人員配置となっている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動がやむを得ない場合も一度に重ならないように配慮し、新しい職員が入る場合もアセスメント早見表を作成し、利用者へのダメージを最小限に抑えられるよう努力している。		
			(外部評価) 管理者は、タイミングを見ながら職員の悩みなどを聞き取り精神面についてもさりげなくサポートされている。職員は、法人内で異動することもある。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外の研修会には代表の職員が参加し、その研修報告は毎月のメイト会で発表してもらい、研修内容を全職員が閲覧できるようにしている。		
			(外部評価) 職員は、県GH連絡協議会の研修等を受講されており、ミーティング時には内容を周知している。先輩職員が新人職員を指導し育てていくような仕組みを作っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>(自己評価) グループホーム協会に加入し、協会主催の研修会に職員が参加しサービスの質向上に努めている。また管理者が同業5事業所と連携を取り、見学、相談、紹介等している。</p>		
			<p>(外部評価) 近くの事業所の方が利用者とともに来訪されたり、また出向く等されている。また、地域の情報を共有するなど連携を図っておられる。グループホームの入居相談時には、他ホームも紹介されている。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 職員の疲労やストレスや悩みを把握するよう努めている。また気分転換できる休憩室を確保しており、休憩時間はしっかり休めるよう配慮している。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>(自己評価) 職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は本人の意向を重視しながら、グループ内で活かせる労働環境づくりに努めている。</p>		
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価) 事前調査で生活状態を把握するよう努め、本人に会って話を聞くことを大切にし、信頼関係づくりを心がけている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族が求めているものを理解し、これまでの家族の苦労や今までのサービスの利用状況など、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、場合によっては地域包括支援センターや他のサービス（ショートステイ、通所介護等）の利用につなげたりしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事業所を見学して頂くことから始め、やむを得ず、すぐの利用になった場合は、ご家族や関係者に来てもらうなどして安心感を持ってもらうようにしている。  (外部評価) 法人のデイサービスに通われていた仲の良い方同士で入居されている方もいた。ご家族の協力も得て、居室の環境作り等も工夫されていた。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の得意分野で力を発揮してもらう場面をつくるよう努めている。利用者からいたわってもらったり、励ましてもらうこともある。  (外部評価) 職員は、利用者とともにイベントを楽しんだり、寂しいような時にはそばに居るなど、ご本人の思いを共感できるよう努めておられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や職員の気持ちを伝えることで本人を支える為の協力関係ができることが多くなっている。家族の方が面会時に皆さんの前で歌ってくれたり、手品をして下さったり、ボランティアの方と一緒に移動喫茶のウェイトレスをして下さったりしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の本人への思い、本人の家族への思いが結びつくような働きかけを心がけている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 入院されているご主人のお見舞いや奥様の月命日にお墓参りを続けている利用者もあり、一人ひとりの生活習慣を尊重している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個別に話を聞いたり、相談に乗ったり、みんなで楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせる場面作りをするなど、利用者同士の関係がうまくいくように、職員が調整役になって支援している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他のグループホームに移られた方も遊びに来て、得意の歌を歌ってくれたり、亡くなった利用者の奥様の介護保険利用の相談に乗ったりしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、思いの把握に努めている。表情からその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。意思疎通困難な方にはご家族や関係者から情報を得るようにしている。		
			(外部評価) 行きたいところや食べ物等好みについて、ご本人の希望が聴き取られている。		さらに、ご本人が事業所でどのように暮らしたいかということなども聴き取り、思いや意向を十分に採り入れながら支援していかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人自身との話や家族、知人等の訪問時などに少しずつ把握するよう努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 家族や関係者の「できない」という情報に囚われず、できること、わかる力を本人の生活から把握するようにしている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者が自分らしく暮らせるように本人や家族の要望を聞き、課題となることをスタッフで話し合い、介護計画の作成に生かしている。		
			(外部評価) ご本人やご家族の希望などを聴き取り、計画に反映されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 職員が情報を確認し、家族や本人の要望を取り入れつつ、期間が終了する前に見直し、状態が変化した際には期間終了前であっても検討見直しを行っている。		
			(外部評価) 基本的には、介護保険証の更新時の見直しとなっており、状態が変化した際には職員が話し合い随時、見直しをされている。		さらに、きめ細やかな質の高いケアを提供していく上でも、細やかな計画の見直しが期待される。また、見直し時にご本人、ご家族はもとよりご本人にかかわる人たちの意見が反映できるような仕組み等も期待される。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 食事、水分量、排泄等、身体的状況及び日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソード等を記録している。いつでも全ての職員が確認できるようにしており、勤務開始前の確認は義務付けている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 医療連携体制を生かして、利用者にとって負担となる受診や入院を最小限に抑えたり、早期退院の支援、医療処置を受けながらの生活の継続等、柔軟な支援を行っている。		
			(外部評価) 医療との連携を図り、利用者の状態に応じて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を活用し、利用者と地域とのさまざまな接点を見出し、近隣幼稚園、保育園児との交流やボランティアへの協力を呼びかけたりしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の状況や希望に応じて、鍼灸、マッサージを受けられたり、また希望や体調により理美容サービスを利用されたりしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加することをきっかけに周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所の協力医のほか、入居前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、ご家族と協力し通院介助を行ったり、往診してもらったりしている。  (外部評価) 母体病院やかかりつけ医と連携を図り、適切な医療が受けられるようになっている。法人内の看護師が服薬の管理等もされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院の院長が所属する老年科の医局の教授による講演会が行われ、職員が参加したり、必要があれば相談にもものってもらえる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 併設事業所との兼任で看護師を配置しており、常に利用者の健康管理や状態の変化に応じた支援を行えるようにしている。看護師のいない時間は介護職員の記録をもとに確実な連携を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院によるダメージを極力防ぐ為、時々職員が見舞うようにしている。事業所内で対応可能な段階でなるべく早く退院できるようアプローチしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に関する考え方、本人及び家族との話し合いや意思確認の方法等看取りに関する指針を定め、家族、医師、看護師を交えて話し合いながら支援している。		
			(外部評価) 介護計画を作成する際には、ご家族の希望等を聞くようにされている。		さらに、重度化や看取りについては、ご本人の意向の把握に努めていかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他事業所へ移られた場合、アセスメント等情報提供し、これまでの暮らしの継続性が損なわれないよう心がけている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) ミーティングの折に日々の関わり方を点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。</p> <p>(外部評価) ご家族に連絡を取りご説明の上、個人情報を提供いただいた。職員の利用者に対する言葉かけなども、敬う気持ちを込めなされていた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者に合わせて声をかけ、小さいことでも本人が決める場面を作っている。意思表示の難しい方にも、二者択一でもいいので自己決定して頂くよう心がけている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。</p> <p>(外部評価) 起床等利用者個々のペースが尊重されているが、食事中や食後等、職員の関わり方について、時に職員のペースになっているような場面もあった。</p>		<p>利用者主体の生活を支援するという点からも、ご本人らしいペースを職員がさりげなくサポートできるような取り組みなども期待される。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個々の生活習慣に合わせて支援し、お正月、ひな祭り等の行事には化粧や和服を楽しんで頂いている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) お米研ぎ、にぼしの頭取り、味噌汁の具材切り、味付け、食台拭き等、力に応じ、利用者と職員が一緒になって行っている。  (外部評価) 複合施設の調理場で調理された食事が運ばれてくるようになっている。ご飯と汁物、おやつ等を事業所で作るようになっている。湯のみはご自分のものを使っておられた。		さらに、利用者が食事の流れの中で、かかわれるような場面を増やしていかれてはどうだろうか。利用者個々が、食事をより楽しむことができるような取組みにつなげていかれてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの嗜好物は、本人の様子や時間を見ながらそれらを楽しめるよう支援している。行事等にはお酒の好きな方には飲んで頂いている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 現在はおむつの方はおらず、おむつの方は紙パンツへ、紙パンツの方は布パンツへと支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一応入浴日は決めているが、臨機応変に対応している。入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応を工夫し、チームプレイによって入浴支援している。		
			(外部評価) ゆず湯を楽しまれたり、入浴剤を用いることもある。足浴やシャワー浴など状態に合わせて支援されている。入浴中に歌を歌ったり、お湯の温度を好みにされリラックスできるよう支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの習慣や日中の疲れ具合(外出、行事、入浴等)に合わせて、個別にソファやベッドにて休んで頂いている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。		
			(外部評価) ご家族が来訪されることを楽しみにされている方や時にご家族に電話をされる方もいる。事業所では定期的にイベントをされており、希望者は参加されている。		利用者一人ひとりがその人らしく暮らし続けるための支援として、個別の支援についても工夫を重ねていかれてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 力に応じて、すべて自分で管理されたり、電話代程度持っておられたり、家族の協力を得て少額のお金を持っている方もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気、本人の気分や希望に応じて、季節を肌で感じてもらい、心身の活性につながるよう散歩、買い物、庭でのティータイム等行っている。  (外部評価) 日々散歩等に出かけておられる。また、買い物にも出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の協力を得て、奥様の毎月命日にお墓参りに行かれる方や月1～2回他施設に入所している奥様、家族と一緒に外出、外食している方もある。飛行機で和歌山までお墓参りに行かれた方もおられる。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎朝、口腔リハビリも兼ねて家族や親戚に電話されている方があったり、大好きな義姉さんに時々電話される方もある。いつでも電話できるよう公衆電話を設置している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 来客には明るく声かけしたり、お茶を出したり、気軽に来やすい雰囲気作りに心がけている。面会時間は定めておらず、いつでも訪ねて頂けるよう配慮している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティング等で日頃のケアを振り返り、自覚していない身体拘束が行われていないか点検している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 外からの入室は自由にでき、利用者が中から外に出ようとされる場合は、さりげなく声をかけたり、一緒について行く等安全面に配慮している。  (外部評価) 玄関は、外からは自由に入れるようになっているが、内からの外出時には暗証番号を入力する必要がある。		忙しいような時間帯の玄関開放は難しい面もあるようだが、今後、利用者の自由な生活を支援するという面からの話し合いを持つ予定となっている。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は利用者と同じ空間で記録等の事務作業をしながら、全員の状況を把握するように努めている。夜間は時間毎に巡回しながら、居室が見通せる職員室やその日様子観察の必要な方の居室近くのソファで見守っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全てを取り除くようなことはなく、利用者の状態によっては注意を促したり、ガラス越しに見えるようにしたり、ケースに応じた対応を行っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 日々のヒヤリ・ハットを記録し、全員で閲覧できるようにし、再発防止に努めている。事故が発生した場合には、速やかに事故報告書を作成し、原因や今後の予防策を検討し、家族への説明と報告を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 開設当初、全職員対象の応急手当、救急法についての勉強会を実施している。ビデオの貸し出しは随時行っている。夜勤時の緊急対応についてマニュアルを作成し、周知している。		繰り返しの訓練が必要と考えている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作成し、年2回利用者とともに消防署の指導のもと避難訓練を行っている。町内会長さんより放送はして頂けることになっている。  (外部評価) 夜間火災時等を想定した訓練を行っている。		地域の協力体制については、運営推進会議で具体的に検討したいと考えている。  今後、災害時の地域との協力体制について運営推進会議の機会を捉えて、話し合いをすすめていかれる予定となっている。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 年1回骨密度検査を行い、結果により必要な場合は資料をもとに家族に説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状況を職員は把握しており、少しでも食欲や顔色、様子の変化が見られた時はバイタルチェックを行い、看護師に報告し、場合によっては医療受診につなげている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬時は個々の力に応じ、きちんと服薬できているか確認している。また治療や服薬調整の参考資料となるよう、本人の状態の経過や変化等に関する日常の記録を看護師、医師に情報提供している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事やおやつに繊維質の多い食材や乳製品を取り入れている。散歩、歩行練習等身体を動かす機会を設けたり、水分補給に注意したり、自然排便できるよう取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの必要性を職員が理解し、力に応じて職員が見守ったり、介助したりして毎食後の歯磨きをして頂いている。就寝前には入れ歯の洗浄を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が栄養バランスに気を配り、毎月BMI値を計算し健康管理も行っている。ティータイムを設け、水分摂取して頂いており、特に必要な方にはチェック表を記入し、水分確保に気をつけている。  (外部評価) 食事について職員が検食をされている。利用者個々の食事摂取量を把握し、水分摂取についても飲みやすいように工夫をされていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症に関して医師による勉強会を行い、早期発見、早期対応に努めている。また利用者及び家族に同意を頂き、利用者、職員共にインフルエンザ予防接種を受けている。感染症の流行に随時対応している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具の衛生等は衛生管理日報にてチェックしながら注意を払っている。食材は厨房にて調理師、栄養士が新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 明るい雰囲気のある玄関になるように、花を生けたり、玄関先にプランターを置いたりして季節感を演出している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 雛人形、七夕飾り、クリスマスツリー、ご飯の炊ける匂い、ゆず湯、菖蒲湯など、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。		
			(外部評価) 共用空間は、利用者と職員での手作りのものが飾られていた。		今後も、ホームに住まわれる利用者一人ひとりがくつろいで過ごすことができるような空間作りの工夫を重ねていかれることが期待される。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下にソファを置き、一人で過ごしたり、仲の良い利用者同士でくつろげるスペースを作っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室はすべて個室となっており、使い慣れた物、馴染みの物など自由に持ち込み、居心地のよい空間を作ることができる。		
			(外部評価) ご家族の協力もあり、ご本人のお好きなお花や人形、絵画、テレビなどがしつらえてあった。また、ご本人の書道作品も飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 健康の為、冷暖房に頼り過ぎず、利用者の状態に配慮しつつ、温度調節に心がけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者の状態に合わせて、浴室、トイレ、廊下に手すりを設置したり、浴室にはシャワーチェアや浴槽と同じ高さの檜の台を用意したり、安全確保と自立への配慮をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 非常ベルの「押す」ボタンとライトは混乱を招かない工夫をしている。居室の入口には写真や名前を貼ったり、トイレのドアに表示したり、自立して暮らせるよう工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関前のプランターの花の手入れや水遣り、ベランダでの洗濯物取り込み等活かされている。		ホーム近くの畑を今後もっと活用したい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員は入職時に個々人のアセスメント、サービス計画に目を通し把握しており、さらに日々のかかわりの中で掴む努力をしている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日曜日は入浴もないので、週1回は必ずゆっくりできる。入浴後～夕食までの時間、コーヒータイム、夕食後～就寝までの間等にゆったり過ごせる時間がある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その人に合わせた支援に心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その人に合った支援をしている時は表情など穏やかである。職員が忙しくなり、ゆとりの介護ができなくなると利用者に反映してしまうので、普段から気持ちにゆとりをもてるよう心がけたい。概ね、家族さんより「いい表情をしている」と言ってもらえる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物に行く人が限られている。自分からは希望が出にくいので、声かけし引き出す努力が必要。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常変わったことがあれば職員同士で話し合ったり、看護師に報告、相談等の連携をとっている。早期発見に心がけている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	臨機応変な支援に心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	よく来所される家族さんでなくても、来所された際には入居者の近況等を話し、家族さん側が相談しやすい状況をつくるように心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	毎日、どなたかの家族さんや親戚の方、友人が来られる、最近は地域のボランティアさんも訪ねてくださる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 ② ② ② ② 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議により、地域のボランティアさんの協力の機会が増えており、毎回、新 しい方も参加して下さる。(お花見で、あるボランティアさんが利用者Sさんの名 前を覚えてもらって嬉しげに話されていた。 )
98	職員は、生き生きと働いている (自己 ① ① ① ① 評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	皆、生き生きと働いている。言うべき事を気兼ねなく言い合える雰囲気が作れたらな お良い。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者自身、毎日が楽しく、その人らしく生活ができているならば、それはサービス に満足していると言えると思う。しっかりされている方に関しては、不満は少々ある と思われる(外出等)。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ② ② ② ② 評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	苦情がないので、おおむね満足して頂いていると思っている。不満があっても言えな いのはよくないので何でも言いやすい環境作りさらに心がけたい。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

残存機能を活かす支援に力を入れている。(歩行練習、リハビリ体操、口腔体操等)  
 健康管理や医療面で看護師、医師との連携を密にし、安心して過ごせるよう配慮している。  
 幼稚園、保育園との交流、小、中、高校生の介護体験、実習生を積極的に受け入れている。  
 イベント(グループ内職員による歌謡ショー、ひな祭り、夏祭り等)は本格的である。